



# 14. 地域の顔の見える関係作り

## (3) 全体会議兼多職種連携研修会

①第1回 目的:事業と多職種連携の理解を深めよう。

講演「在宅医療連携拠点推進事業とは～大府市の課題～」

講師:長寿医療研究センター在宅連携医療部長 三浦久幸氏

グループワーク「大府市の在宅医療介護の現状をお互いに理解しよう」

5月 8日(木)午後1時半～3時半 市役所多目的ホール 88名

5月17日(土)午後4時～6時 ふれ愛サポートセンタースピカ 73名

終了後懇親会開催48名参加

配慮したこと●平日と土曜日開催の2回開催

(平日⇒福祉系・土曜日⇒医療系が主に参加)

●多職種連携できるグルーピング

●話すことに集中できるようにグループ毎に事務局職員配置

(司会、書記、発表役を気にせず、自由に発言)

⇒楽しかった。自由に話せた。また、市役所のやる気を感じた等の良い意見が多く聞かれた。



大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せを感じる 健康都市」

# 第1回全体会議兼多職種連携研修会







# 15. 地域の顔の見える関係作り

②第2回 目的:先進事例を学んで、大府に取り入れよう!

講演「地域包括ケアシステムにおける在宅医療連携

～地域のつながりを求めて～」

講師 豊明市牧医院 院長 牧靖典氏

豊明市南部地域包括支援センター 田中貴教氏

グループワーク「在宅医療連携をよりよくしていくには

～電子@連絡帳をみてみよう!さわってみよう!」

8月30日(土)午後3時半～5時半 大府市保健センター 85名

その後懇親会45名参加

配慮したこと●グループワークはワーキンググループの委員の発案で、

試行中のシステムを見せながら実施。事務局職員も配置した

が、ワーキンググループの委員がワークをリードした。

懇親会の参加者は名刺を自主的に配り、自席にとどまらず、  
多職種と情報交換する。コミュニケーション力はおおぶの力

